



学校だより

ゆたかに花さけ
We can do it

3月号

令和6年3月11日

横浜市立保土ヶ谷中学校

横浜市保土ヶ谷区釜台町3番1号 電話045-331-8521

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/hodogaya/>



年度末を迎えて

校長 工藤 祐嗣

早いもので令和5年度も残り少なくなりました。そして明日は3年生の旅立ちの日です。

卒業生323名がそれぞれの「夢」に向かい胸を張って保土ヶ谷中学校を巣立ちます。今年の3年生もとても立派に1、2年生の憧れる存在でいてくれたと思います。合唱コンクールや体育大会などコロナの影響も緩和され、全校で開催ができた中でつくづく3年生の存在の大きさを感じました。学習面、部活動などに対しても立派な態度で学校生活を送り、保土ヶ谷中学校の顔として活躍してくれた3年生を明日は心からお祝いしていきたいと思っています。後を引き継ぐ1、2年生にはそんな3年生の姿を心に刻み、保土ヶ谷中学校の歴史をより進化させてほしいものです。そして今のクラスでいられるのもあと数日です。今のクラスの人たち、担任の先生との出会いは奇跡です。この奇跡のクラスでどんな最後の思い出が作れるでしょう。一日一日かみしめながら過ごし、4月からの新たな奇跡の中で学校生活を楽しみながら自分自身の夢をかなえるための学びをしてほしいと思います。

保護者の皆様や地域の皆様、本校の教育活動にご理解とご協力を頂きながらしっかりと支えていただいたことに心から感謝申し上げます。これからも地域の誇れる保土ヶ谷中学校として、子どもたちと共に努力をしていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

歴史のモナド

副校長 鈴木 浩

ヴァルター・ベンヤミンは、「歴史は危機に際し想起されるモナド（=つぶ）である」と言いました。なるほどと思います。たしかに、歴史は日々生成されて、無限に作られていくわけです。未来の人間が、どの事象を歴史事象として取り上げるかは、まったく分からない。だからこそ、私は、そのモナドを、「温かみのあるもの」にしていくことが大事だと思うのです。歴史を振り返ると、戦争や争いのことばかりが並ぶ気がします。だけど、実際には、楽しいことやうれしいことがたくさん起こっていたはずなのです。そのことを力にして、他者への眼差しを温かみのあるものにしていくこと、優しさの想像力を膨らませていくことが、友好のモナドの再生産になると思っています。

人間は時間性の中に生きています。それこそが人間の特徴です。

進級に向けて

芹田 仁一

入学式当日の朝、久しぶりに履いた革靴が滑るのを気にしつつ、傘を差して出勤したことを覚えています。この時点で雨の入学式を覚悟していました。しかし、不思議なことに新入生の受付を開始する直前に雨が止み、入学式と最初の学活を終え、みなさんが下校を完了するまで雨は降りだしませんでした。これは、もしか、「持っている」学年ではないか、と密かにワクワクしたことが鮮明に記憶に刻み込まれています。

みなさんは、小学校の後半、足掛け3年間にわたり制約だらけの生活を強いられ、ようやく「日常」が戻ってくるかもしれない、という期待とともに、中学校生活をスタートしましたと思います。そして、明るく元気に、屈託のない笑顔を輝かせて毎日を過ごしてきました。快晴の自然教室も、保土ヶ谷中学校としては4年ぶりとなる全校で行う体育大会も合唱コンクールも経験できました。先生たちも、みなさんがいてくれたおかげで、とても充実した日々を過ごすことができました。ありがとうございます。

だから、ぜひとも、あの3年間を取り戻すくらいの楽しい思い出を、あと2年間でたくさん残してほしいと願っています。そして、2年生では、がむしゃらに進んだ1年生とちがい、少し進歩・進化した楽しみ方を一人ひとりが追求してくれたら嬉しいです。

さて、今年度の学年目標は、

えん
『縁 学年』 ～0から学んで森を育てよう～

でした。

「縁」学年として、何かの「縁」で結ばれた仲間とともに、一人ひとりが生長（成長）して大樹となり、大きな森を形成することを目標としてきました。みなさんが蒔いた種は大地に芽吹き、しっかり根を張り、この1年間で着実に育っています。まだまだ伸びしろは十分にあります。自信をもって、胸を張って、次の一步を踏み出してください。

1学年職員一同、心から期待しています。そして、全力で応援しています！

ゆたかに花咲け、保中生！！

2学年主任 松浦 里香

2年生のフロアでシクラメンとマーガレットを1年間育てていました。

シクラメンはしおれてどうにもならない状態から今では花を咲かせています。マーガレットも、もう少しで花が咲きそうです。育てていて、花が咲くまでにはとても時間がかかると実感しました。花と同じで、頑張ったと思っても、すぐに成果として現れないことはたくさんあるかもしれません。しかし、あきらめずに自分を信じて努力を続けることを大事にしてほしいです。もう無理だろうな・・・と思いながら水をあげていたシクラメンも芽が出てつぼみをつくりました。頑張れた実感がなくても、きっと毎日の積み重ねが必ず成長につながり、花ひらくのだと思います。

学年目標である、前進 ～プルスウルトラ～は、限界を感じたところからさらに先に進む合言葉です。3年生になって大きな花を咲かせるためにも前進～プルスウルトラ～で頑張りましょう。

卒業に寄せて

3学年主任

三年前、ぶかぶかの標準服に身を包み、かわいらしく入学してきた皆さんがとうとう卒業する時を迎えようとしています。一年生の時、幾度となく田口先生が「認め合い、楽しく」過ごすよう声をかけてくださっていたこと、覚えていますか。今振り返ると、皆さんは本当に、いろいろなことに全力で取り組み、互いを認め合い、高めあい、助け合ってここまで来たように思います。たくさんの成功と、時々失敗と、数えきれない思い出と。

こんなふうに振り返ることでさえ、皆さんからもらった大きな贈り物のような気がします。きちんと生活し、一生懸命様々なことを経験し、授業中は 真剣に学習し、時には羽目を外してみんなで大笑いしたりした、この保土ヶ谷中学校での思い出を宝物に、保護者の方やお世話になった方々への感謝の想いを一つひとつの礼や返事や合唱の声で表し、最高の卒業式を創り上げて、晴れやかに旅立っていきましょう。卒業おめでとうございます。